



# たまがわ



## とどけ、交通安全への願い

毎日のようにどこかでおきている交通事故。秋の全国交通安全運動初日の9月21日、玉一小の児童による交通安全鼓笛隊パレードが行われ、悲惨な交通事故の撲滅を住民に呼びかけました。

スタート地点の泉郷駅から折り返し地点の日の出屋さんまでの道のり、約1キロを元気にパレード。沿道には父兄などが出迎え、拍手で声援。

交通安全への願いを込めて、児童1人ひとりが約束ごとを書いた短冊を風船に結びつけ、就改センター前広場から一斉に大空に。——子供たちの願い、より高く、より広くとどいてほしい。

'85  
**10**  
NO. 230

### 59年度の建設事業

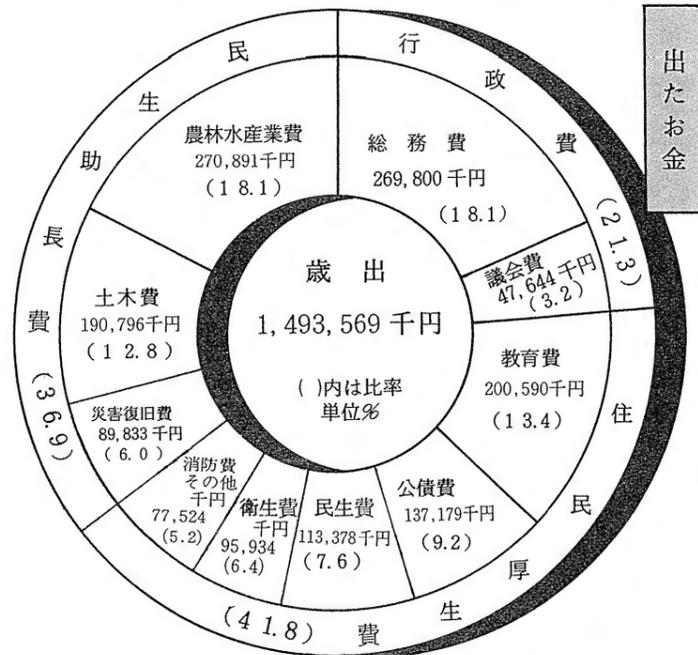
補助事業 単位：千円

事業名	決算額
団体営農道整備事業	85,241
県単農道整備事業	9,092
農山漁村振興特別対策事業	5,368
主要穀物等生産総合振興対策事業	4,087
野菜産地総合整備対策事業	11,572
治山事業	2,868
補助道路改良事業	33,460
防火水槽新設事業	4,219
すがま幼稚園増築事業	20,135
テニスコート建設事業	30,921
災害復旧事業	89,834
計	296,797

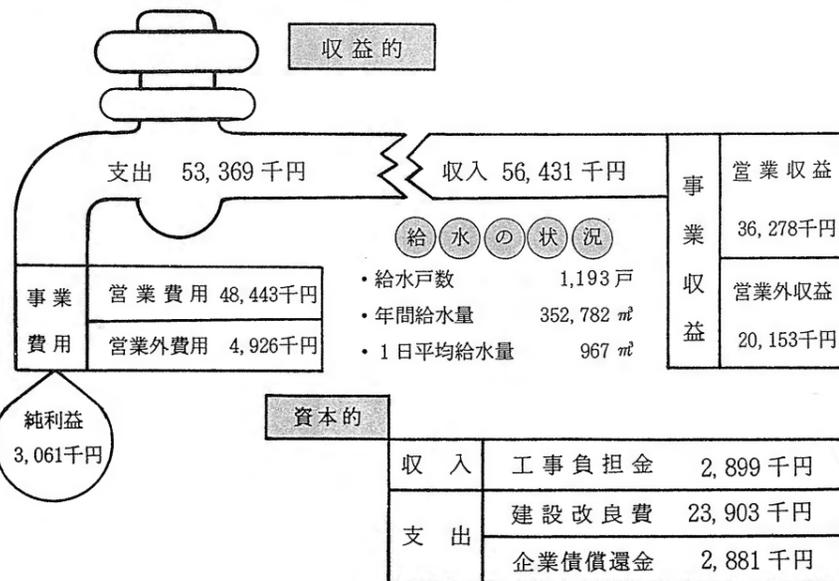
単独事業 単位：千円

事業名	決算額
団体営ほ場整備事業	11,363
非補助土地改良事業	60,161
村単農道整備事業	2,046
道路台帳整備事業	22,995
遺跡発掘事業	2,436
村単道路改良事業	6,541
県道改良事業負担金	10,177
計	115,719

# 昭和59年度 豊かな暮らしに



## 水道事業会計



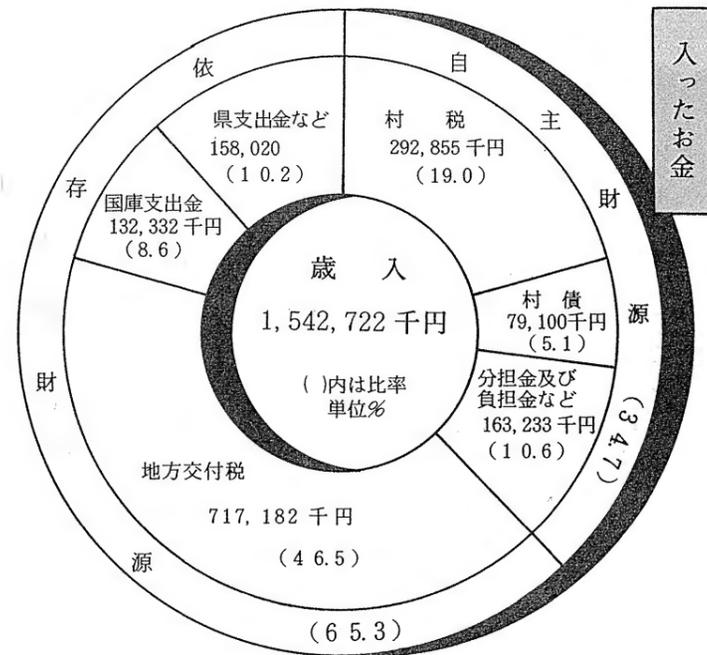
**歳出**

歳出をみてみますと、断然トップは団体営ほ場整備や農用地開発など、農業振興のために使われる農林水産業費で二億七千八百九十九万円。次いで総務費が二億六千九百八十万円、全体の十八・一％。これは役場等の維持管理にあてられる

たお金です。また、すがま幼稚園の増設や村民グラウンドの整備など学校教育や社会教育の充実などに二億五十九万円が使われました。そのほか、道路の改良整備をはじめとする私たちのより良い暮らしのため、土木費として一億九千七十九万円。総額で十四億九千三百五十六万円が昨年度一年間に使われたお金になります。

## 決算報告

# 14億9,356万円



## 歳入

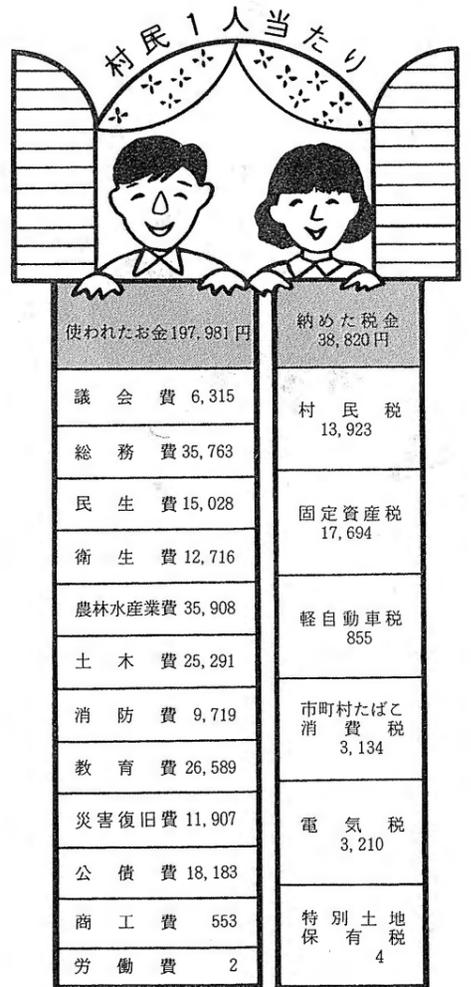
歳入をみますと、村税や村債など自分の村で確保できる自主財源はまだまだ低く、全体の三十四・七％。前年度に比べると約八％の減になっています。

円です。また、すがま幼稚園の増設や村民グラウンドの整備など学校教育や社会教育の充実などに二億五十九万円が使われました。そのほか、道路の改良整備をはじめとする私たちのより良い暮らしのため、土木費として一億九千七十九万円。総額で十四億九千三百五十六万円が昨年度一年間に使われたお金になります。

昭和五十九年度の一般会計の決算額は、歳入(入ったお金)が十五億四千二百七十二千円。歳出(出たお金)は十四億九千三百五十七千円で、実質四千九百十五

万二千円の黒字決算となりました。歳入は前年度対比で四・六％の減、歳出は四・三％の減となっています。

## 実質四千九百十五万二千円の黒字



予算は村づくりを進めるための青写真だとすれば、決算は村づくりがどのように進められたのか、いわば一年間の記録といえるものです。

昭和五十九年度の一般会計及び特別会計の決算が、九月定例議会で承認されました。

今月は、みなさんから納めていただいた税金や国、県からの補助金、地方交付税などが入り、どのように使われたのか、そのあらましをお知らせします。

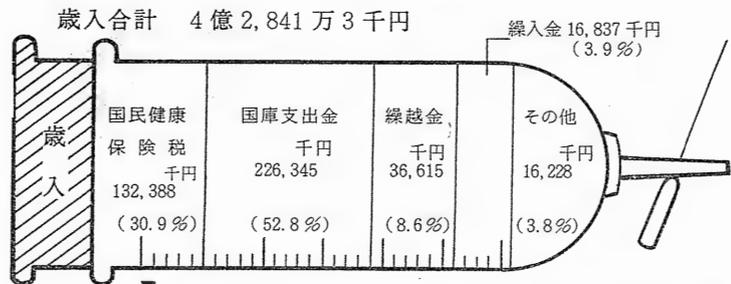
# 国民健康保険

# 特別会計

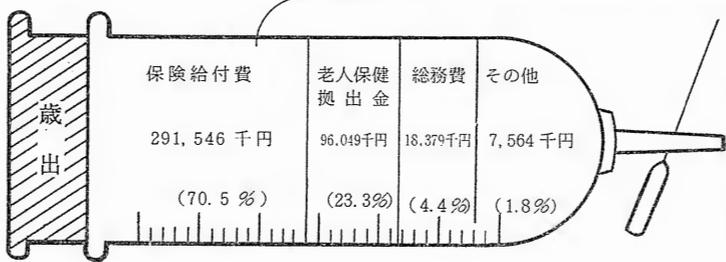
## 10月15日から収納・支払いは 指定金融機関で

今まで役場会計室で行われておりました村の公金の収納及び支払いを、十月十五日から指定金融機関がかわって取扱いをします。  
税金や村に納めていただくお金（村営住宅使用料や保育料など）は、役場（本庁）と泉農協、須釜

農協で取扱います。また、お金の支払いは、役場会計室で指定金融機関（泉農協の職員が常時駐在）が現金や口座振替の方法によって行います。指定金融機関制度によって、直接みなさんに手続きをとっていただくことになりません。（印鑑をご持参ください）



<ul style="list-style-type: none"> <li>1世帯当りの保険税…… 116,064円</li> <li>1人当りの保険税…… 30,800円</li> <li>国保加入世帯…… 1,135世帯</li> <li>被保険者数(老人を除く) 3,793人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>療養諸費 261,430千円</li> <li>高額療養費 25,406千円</li> <li>助産諸費 3,300千円</li> <li>葬祭諸費 1,410千円</li> </ul>
---	--



### 歳入は 198,933千円

支払基金交付金	139,226千円
国庫支出金	39,360
県支出金	9,911
繰入金	10,001
繰越金その他	435

### 歳出は 196,463千円

医療諸費	193,903千円
諸支出金	2,559

老人被保険者数	484人
1人当たり年間医療費	400,627円

## 老人保健特別会計



昭和五十九年度の国民健康保険特別会計は歳入総額が四億二千八百四十一万円、歳出総額は四億一千三百五十三万円で、差引き一千四百八十七万円の黒字決算となりました。  
国保加入世帯に納めていたただく保険税は、昨年に比べて二・九%の増、二千二百九十円の負担増になっています。また、支出の中の保険給付費は前年度対比で十二・四%の伸び率をみせ、被保険者一人当りの年間医療費は七万六千八百六十四円使われています。

# 敬老会

## 今年もそろった元気な顔 歌や踊りに楽しい一日



繰り広げられるアトラクションに笑顔の1日

昭和六十年年度の敬老会が、九月十四日午前十時から村体育館で盛大に行われました。今年招待された七十五歳以上のお年寄りは、昨年より十人多い三百七十八人。そのうち約二百八十人が会場に元気な姿で出席されました。

でき、嬉しい限りです。健康に留意されまして、楽しく豊かな人生を送ってください。」と式辞が述べられ、今年九十九歳で村一番の高齢者である川辺の大竹ツ子さんに、内閣総理大臣からの祝状と記念品が伝達されました。

また、今年八十歳になられた矢吹ハルさんほか三十三人の方々に村長から敬老年金証書が手渡されました。続いて夫婦そろって八十歳を迎えられた四組のご夫婦(真弓友直・ナミさん、永林政二・ミノさん、上野鶴雄・リヨさん、円谷房次・イネさん)に特別記念品として夫婦座布団が贈られました。

式典のあとは、婦人会のみなさんによるアトラクションで楽しいひととき。各支部の趣向を凝らした踊りの出し物に、お年寄りの方たちは満足のようすで、曲が終るたびにさかんな拍手を送っていました。

お年寄りの中には見ているだけでなく、ステージで婦人会員向けの歌や踊りを披露する芸達者な方もいて、会場は笑いと拍手で大いに盛りあがりを見せました。そのほか、泉中学校合唱部のみなさん

が特別出演で見事なハーモニーを会場いっぱい響かせ、お年寄りの方たちも思いがけないプレゼントにウットリした表情で聴き入っていました。いつもながらの会場風景で、一年ぶりに健在をたしかめあって盃を傾げるお年寄りの姿があちこちで見られ、和気あいあいといった敬老会となりました。



お酒を飲みかわし、友達の輪



芸達者なお年寄りの方も

### 秋の行政相談週間

十月十三日～十九日

行政相談委員は  
みなさんの身近な  
相談役です



行政相談委員の  
小山田 伸さん

国の仕事によって不利益を被った、役所の事務処理が間違っていると思うが……。このような行政に対する苦情や疑問が生じたとき、たいへん心強い味方となってくれるのが「行政相談委員」です。

委員は、国の行政に関する相談を受けると、必要な助言をしたり、関係行政機関に対し、適切な処置をうながしたりして、みなさんからの相談を一つ一つ解決していきます。

十月十三日(日)から十九日(土)までの一週間は「秋の行政相談週間」。週間に行政相談所を開設しますので、相談のある方はこの機会にご利用ください。

日時……十月十六日(水)

午後1時30分～4時

場所……役場北庁舎二階会議室

行政相談委員/小山田 伸

住所/小高字向久保八五

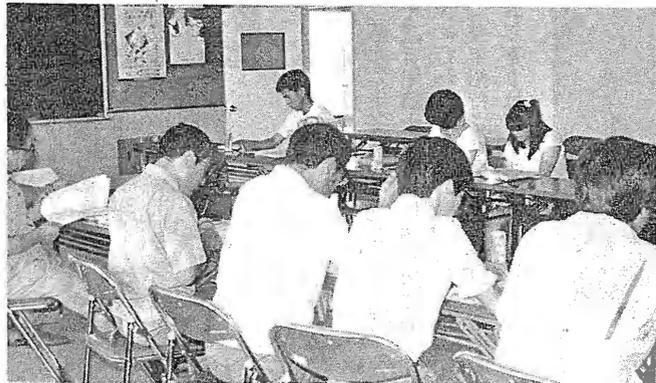
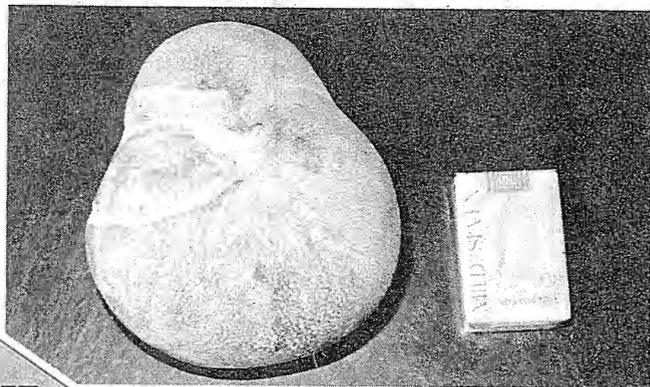
電話/二三〇二

### きのこの

## 超肥満体続出

今年の夏は雨らしい雨が降らず農作物への影響が危ぶまれていましたが、このところ村内のあちこちで、おぼけきのこが出たとか、マッシュルームの肥満なのではとか、きのこのこにまつわる話題でもちぎりでず。

四辻新田字峰ノ菓の関根弘志さん方では屋敷内にある野菜畑の土手に白くて丸みのあるきのこを発見。縦20cm、横15cm、厚さが1.5cmで、一見パンを大きく膨らませたような感じ。このほか南須釜の班目儀信さん、中の吉田清明さんの庭先からも見つかっており、何かの前兆ではなど、かんかんがくがく。きのこ特有の臭いもあり、食用かどうかが只今解明中。名前は「鬼フスベ」と分り、一応きのこ類と判別しました。



### 初の事業所

## 説明会を開催

来春、高校を卒業し、地元就職を希望される方たちを対象にした事業所説明会が九月一日、就改センターで開かれました。

この説明会は村商工会（工業部会）が主催して行ったもので今回が初めて。当日は、村内の事業所十社が自社の概要等を紹介するためのパンフレットなどを持参し、地元就職を望む方たちを前にして仕事の内容や福利厚生、求人数などを説明しました。今回は四人が出席し、会社側からの説明に熱心にメモをとっていました。

商工会では来年はさらに内容を充実させて開催を予定しており、地元企業を若い人たちにもっと知ってもらおうと張切っています。

### 話題あれこれ

### 泉中合唱部が

## 県大会出場

福島県下小・中学校音楽祭石川地区大会が石川小学校を会場に九月五日開催され、中学校の部に出場した泉中学校合唱部（部長・真弓美代子さん、部員数三十六人）が、見事最優秀賞に輝きました。

部員のみなさんは、夏休みも返上して、声づくりのための猛練習を重ね、地区大会ではその成果を十分に発揮し、県大会への出場権をにぎったもの。

九月十九日、会津若松市で開かれた県大会では課題曲「ミスターモーニング」と自由曲「消えた八月」の二曲を美しいハーモニーで歌いあげ、銅賞に入賞。部員の澄んだ歌声は多くの聴衆を魅了しました。



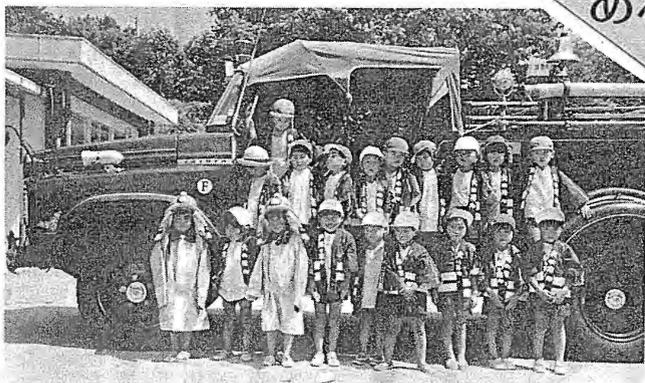
### 避難訓練、

## 上手にできたよ

ガタガタガタ。急激な地震の発生で子供たちは帽子をかぶり机の下に。地震の揺れで給食室から出火の想定のもと、泉保育所では九月二日、須賀川広域消防署の協力で大がかりな火災避難訓練が行われました。

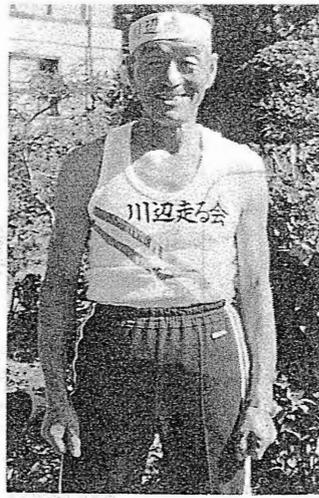
これは防災の日として、日ごろから子供たちにその意識を持たせようとしたもの。非常ベルの音が鳴る中、先生の誘導で全員が無事避難。先生方も消火器の取扱いの指導を受け、消火作業を実施。

本番さながらの訓練に、子供たちは真剣な面持ちで見入っていました。また、この日はポンプ車も出動し、ハッピーや消防服を着せてもらって大喜びの一日でした。



# この人登場 ⑤

このコーナーは  
村民を紹介するた  
めに設けました。「こ  
んな人がいます」とお  
知らせください。



坂本菊雄さん (川辺)

## マラソンで健康づくり

### 川辺の坂本菊雄さん

いよいよスポーツの秋。この季節にうつつけの人を今月は紹介  
します。マラソンで健康づくりを  
提唱する川辺の坂本菊雄さん(64  
歳)が今月の人。区長の要職にあ  
つた昭和五十四年六月に川辺走る  
会を結成しそれ以来、会長の座に。  
現在、会員三十二人(内女性七  
人)で坂本さんが最古参。

雨の強い日や農繁期の数日を除  
くほとんど毎朝、四キロのコース  
をひた走りする姿が見られます。  
旅行にもカバンの中にはトレーニ  
ング一式を。マラソンは生活のリ  
ズムであり、一日の始まりのゴン  
グのようなものと坂本さんの弁。

今年で出場六回の猪苗代マラソ  
ンをはじめ、近郊での大会にも参  
加し、速くは青梅マラソンまで  
も。あくまでもタイムより完走が  
目標とのこと。長続きのコツは準  
備運動をしっかりとやって自己のベ  
ースで走る——一番基本的なこと  
を忠実に守ることだそうです。

「完走したあとの、あの何とも  
いえない爽快さが魅力」、この言  
葉に尽きるのか。お蔭で疲労は持  
ち越さないし、血圧も安定。何よ  
りも自分の体に自信が持てるよう  
になり、「死ぬまで走りたい」と  
笑顔で語る坂本さんです。

10月10日～16日  
40歳からの健康週間

## 老後への備え 健康も忘れずに

十月十日は「体育の日」、また  
この日から十六日までの一週間は  
壮年期からの健康づくりと成人病  
予防のための「四十歳からの健康  
週間」です。

老後の準備は四十代からと言わ  
れますが、これは経済面に限った  
ことではありません。健康につい  
ても老後への備えが必要です。か  
けがえのない財産である健康を失  
わないようにしましょう。

健康づくりの三本柱は「運動」  
「栄養」「休養」といわれています。  
適度な運動、栄養のあるバラ  
ンスのとれた食事、十分な休養を  
とるよう心がけましょう。

村では四十歳以上の方を対象に  
した健康診査を行っています。自  
分の健康は自分で——年一回必ず  
受診しましょう。



お茶の水女子大学教授  
附属幼稚園園長

### 外山 滋比古

## しっかりと ⑤

## ことばの離乳

生まれてすぐ赤ちゃんに話し  
かけてやる、はじめのことばは  
母乳と同じようなはたらきをし  
ます。

それで、私はこれを母乳語と  
呼んでいます。

いつまでもこれだけではいけま  
せん。ことばでもやはり離乳しま  
す。離乳したことばに離乳語とい  
う名をつけました。

本場の離乳と違うところが二つ  
あります。ひとつはことばの離乳

は三歳から三歳半になって始める  
こと。もうひとつは、離乳したあ  
とも、日常生活ではいぜんとして  
母乳語が中心だという点です。

母乳語は、オカアサン、オッパ  
イ、オトウサン、ワンワンなど具  
体的なことばです。それに対して  
離乳語は、目に見えない、さわる  
こともできないものごとを指す抽  
象的なことばです。

つまり、人間のことばにはふた  
色あるということ。それなの  
にいつまでもことばの離乳をしな  
いで平気なお母さんが少なくあり  
ません。ではどうして、ことばの  
離乳をすればよいのか。ごぞんじ  
でしょうが。

オトギ話をしてやるのです。と  
いって、まっぴるまから、ムカシ  
ムカシとやってはいけません。昼  
のこともは活動的で話などきこう  
としないものです。おとなしくき  
くようであれば、ほとんど病気で  
す。

むりやりきかせようとすると、  
こどもは、「なぜうちで買ってく  
るモモから赤ちゃんうまれな  
い」などといって母親を困らせま  
す。

夜、眼の前には話します。こども  
の目はもうふさがって、口もきけ  
ないくらいです。夢かうつつかは  
つきりしない状態で、ムカシムカ  
シアルトコロニ……とやります。

モモタロウの話ならすくなく  
とも二十日くらいつづけます。  
これを二年から三年継続しては  
じめて、ことばの離乳ができる  
のです。

昔はどこでもしていたことで  
す。年寄りがいない核家族で忘  
れられてしまいました。



# 公民館だより

九月二十日、二十一日と一泊二日で高齢者教室の野外研修（文化財めぐり）が行われました。参加した方の中から感想が寄せられましたのでご紹介します。

## 野外研修に参加して

中野チヨウ（南須釜）



「便りあらばいかで都に告げやら

む今日白河の関を越えぬと」  
 「都をば霞と共に立ちしかど、秋風ぞ吹く白河の関」  
 高名な歌で一度は訪れてみたかった白河の関。学級生百三十名が三台のバスで到着。脚痛のために余り歩きまわれなかったことが少々残念でしたが、現場踏破の喜びで満足。

栃木県雲巖寺では昼食を院内に持ち込み、分散してとる。松島の瑞巖寺の流れを汲む名刹といわれるが、その名にふさわしいたたずまいである。

塩原へと車は急ぎ、眺望まさに絶景。山水画の一幅にも及ばない感じである。喜びのうちに湯の街に入り、旅の思い出にとホテルのフロントで写真撮影。しばらくして大広間でみんなと一緒に膳を囲む。会長さんや公民館の職員さんのあいさつのあとは、それぞれ飲む人、食べる人、余興をする人、踊りや歌、ダンスをする人など、齢も忘れ身も心も若くなつたように本当に楽しいひとときを過ごすことができたことは何よりも嬉し

い。  
 一人の落伍者もなく、皆で協力でき、意義ある楽しい研修会になったことを心から来て良かったと思つた。来年も元気で是非、参加したいと思う。

## 10月10日に村民体育祭 ご家族そろって参加を



第二十五回村民体育祭が十月十日（木）に村民グラウンドで開かれます。

年に一度、村民一同が集り、

スポーツを通して親睦を深め、健康増進にあなたも参加してみませんか。楽しいゲームをたくさんとりそろえています。ご家族そろってお出かけください。

## 講演会・座談会開催のお知らせ

主催 村青年団連絡協議会

・テーマ 少年総合センター 木村清一先生  
 //今、若者は何を考え、

どう行動しようとするのか”  
 ・講師 国立オリンピック記念青 とき 十月十二日（土）  
 午後七時半 ところ 玉川村就業改善センター

## 昭和60年 総合文化祭のご案内

今年も香り高い文化の秋を迎え、村では総合的な文化祭を開きます。

商工会まつりや農業まつりも計画されています。ご家族おそろいで芸術の秋を心ゆくまで鑑賞ください。

期日	行事	会場
10月19日 ～20日	須釜農協まつり	須釜農協
11月1日 ～11日	玉川村郷土史資料展 菊花展・盆栽展・児童生徒作品展 書道展・写真展	玉川村就業改善センター ロビー
11月2日 ～4日	生花展・芸能発表会・老人作品展・山野草展 商工会まつり（ミニSL運行） 11月9日午後一時から講演会 （輪島 功一）ボクシング	玉川村体育館 玉川村就業改善センター
11月9日 ～11日	玉川村泉農協まつり	玉川村泉農協
11月9日 ～10日	第14回玉川村柔剣道大会	玉川勤労者体育センター
11月10日	玉川村民カラオケ大会	玉川村体育館
11月17日	玉川村青年文化まつり	玉川村体育館
11月16日 ～17日	農業まつり	玉川村体育館

※ 開催時間は午前9時から午後4時までです。

# 〈新しい国民年金〉その4

今月は、昭和六十一年四月一日から改正施行される国民年金制度の中の、遺族基礎年金についてそのあらましをお知らせします。

## 遺族基礎年金

### 母子型から遺族年金型へ

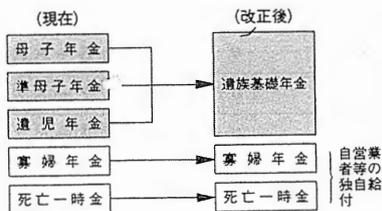
現在の国民年金では、母子・準母子年金、遺児年金、寡婦年金、死亡一時金の遺族給付があります。新制度では寡婦年金と死亡一時金については自営業者など第一号被保険者に対する独自の給付として残り、母子・準母子年金と遺児年金は遺族基礎年金として母子年金型から遺族年金型へ再編成されます。

### 年金は妻や子に支給

遺族基礎年金は、国民年金に加入していた人が死亡したときに、その人によって生計を維持されていた十八歳未満（一級・二級の障害にある場合は二十歳未満）の子がある妻と、国民年金に加入していた親が死亡し、子だけが残された場合は、その子（年齢は前記と同じ）に支給されます。

### 年金を受ける条件

現在の母子・準母子年金では、死亡した人が国民年金に加入していたかどうかに関係なく、年金を受ける人自身が国民年金の加入者で、一定の保険料納付要件を満たしていなければ受けられません。これに対して、新制度での遺族基礎年金では、死亡した人が国民年金に加入し、死亡した日の属する月の前月までに、保険料を納め



た期間（免除を受けた期間を含める）が加入期間の三分の二以上あることが必要です。また、老齢基礎年金の受給資格期間（二十五年）を満たしている人が死亡した場合にも受けられます。



### 納付条件の特例

昭和七十一年四月一日以前に死亡した人については、死亡日前の一年間のうちに保険料の滞納がなければ、遺族基礎年金は受けられます。

### 年金額は

月額五万円

プラス加算額

遺族基礎年金の額は定額で、妻の分として月額五万円（昭和五十九年度価格、以下同じ）、子が二人までは一人につき月額一万五千元、三人目以降は一人につき月額五千元が加算されます。

また、子が受けるときは、月額五万円とし、子が二人のときは月額一万五千元を、三人以上るときは一人増すごとに月額五千元を加算した額を、年金を受ける子の数で割った額となります。

## 税 だより

### 利子の非課税制度が 変わりました

昭和六十一年一月一日以後に預け入れる預貯金に対するマル優などの手続きが変わります。預貯金の口座を開設する場合には、住民票の写し、印鑑証明、健康保険証、年金手帳、運転免許証、などを呈示して、住所、氏名及び生年月日の確認を受けなければならぬことになりました。



これらの手続きをしない預貯金の利子には所得税がかかります。詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室へどうぞ。

### あなたも緑のオーナーになりませんか

石川営林署ではただ今、緑のオーナーを募集しています。緑のオーナー制度は、参加される方が一口当り五十万円の投資で国有林の育成途中のスギ、ヒノキ等の人工林（植えてから二十一年～三十年の森林）を共有し、成林し伐採できるまでの間（二十～三十年）共同で育てる契約を結ぶシステムです。契約で定めた時期に、立木を販売して、その収益の分配を受けることができます。石川営林署ではこのほど、古殿町の国有林の一部を一般公募します。是非、この機会にあなかも緑のオーナーとして参加しませんか。詳しいことについては、石川営林署庶務課（☎02472⑥2131）までお問い合わせください。

### 泉郷駅で特急券発売

九月から泉郷駅で、郡山―上野間の自由席特急券を発売しています。東北新幹線で東京方面にお出けの際は是非ご利用ください。

# お知らせ



母子保健強調月間

12月から  
市外・市内局番  
が変わります



今年の十二月から市外局番と市内局番が変わります。石川管内(石川町、浅川町、玉川村、平田村)と東白川管内(古殿町、鮫川村、埴町、矢祭町、棚倉町)の市外局番は、すべて(〇二四七)となり、管内相互間、市外局番をダイヤルしないで通話できるようになります。市内局番は二桁となりますが、現在使用中の加入者番号(四桁)は変更ありません。NTT石川電報電話局

## <市外局番・市内局番の変更>

局名	現在の市外・市内局番		変更後の市外・市内局番	
	市外局番	電話番号	市外局番	電話番号
石川局	02472	6-xxxx	0247	26-xxxx
浅川局	024736	-xxxx	"	36-xxxx
玉川局	024757	-xxxx	"	57-xxxx
蓬田局	02475	5-xxxx	"	55-xxxx
小平局	02475	4-xxxx	"	54-xxxx
古殿局	024753	-xxxx	"	53-xxxx
鮫川局	02474	9-xxxx	"	49-xxxx

### 村のようす

(60年9月1日現在)

1,551戸(±0)  
7,521人(+4)  
3,704人(-3)  
3,807人(+7)

### 10月の健康ごよみ

11日(金) 乳幼児健診  
母子センター 午後1時30分  
15日(火) 成人病予防教室(岩法寺地区)  
午前9時30分  
妊婦健診及び母親学級(東部) 母子センター 午後1時30分  
11月1日(金)  
成人病予防教室(四辻地区) 午前9時30分  
妊婦健診及び母親学級(西部) 母子センター 午後1時30分  
8日(金) 乳幼児健診 母子センター 午後1時30分

### 公民館の予定

- 4日(金) 婦人学級
- 10日(木) 第25回村民体育祭
- 14日(月) 青年教室
- 16日(水) 高齢者学級
- 28日(月) 青年教室
- 11月1日(金) ~ 11日(金) 村郷土史資料展
- 11月2日(土) 菊花展・盆栽展等

### 10月15日 ~ 11月14日

## 県内一斉に放置犬等の一掃強化運動を実施

無登録、未注射犬などが一掃されます。あなたの愛犬は大丈夫ですか。

### 今月の納税

固定資産税(二期分)  
国民年金(三期分)

納期限は十月二十五日(金)までです。  
忘れずに納めましょう。

おめでた	おめでも
地区 出生児氏名 保護者名	地区 死亡者氏名 年齢 世帯主
藤生 曲山理恵 吉信	中 小針トシ 80 信子
岩法寺 阿部洋子 広春	竜崎 湯澤光市 88 光重
北須釜 関根 瞳 昇	" 小林清和 66 徳清
新四吉 和田奈穂 清三	" 湯澤力丸 86 力三
田 塩田ありさ 清一	南須釜 大野義定 88 義治
	北須釜 鈴木キヨノ 80 廣一
	山新田 石森ハツヨ 75 米政

### 寄付

ありがとうございます  
させていただきます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。  
厚く御礼を申し上げます。

記

- 吉の鈴木義一さんから 老万円
- 小高の坂本豊一さんから 貳万円
- 小高の車田久七さんから 老万円
- 川辺の矢部莊一さんから 老万円
- 南須釜の円谷房吉さんから 貳万円
- 郡山ヤクルト販売株式会社の玉川担当の添田とし子さん、多田和子さん、榊枝幸男さんから販売益金の一部、八千円の寄付をいただきました。(社会福祉協議会)

おわびと訂正

広報たまかわ九月号の「寄付ありがとうございます」の欄中、北須釜の榊枝金作さんの寄付金が貳万円となつていますが、貳万円の誤りです。深くおわびして訂正いたします。